

生活クラブ社会的連帯経済コネクト機構、設立！

2025年6月28日、生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合が解散し、新たな中間支援組織として「生活クラブ社会的連帯経済コネクト機構」が設立されました。自治体ごとの「運動グループ地域協議会」を中心として行うまちづくりの活動を支援し、インクルファンドによる助成制度を継続しながら、ワーカーズ・コレクティブや労働者協同組合などの非営利事業体による、地域社会を豊かにするしごとの創出と働く場づくりの拡大をめざします。

ご挨拶

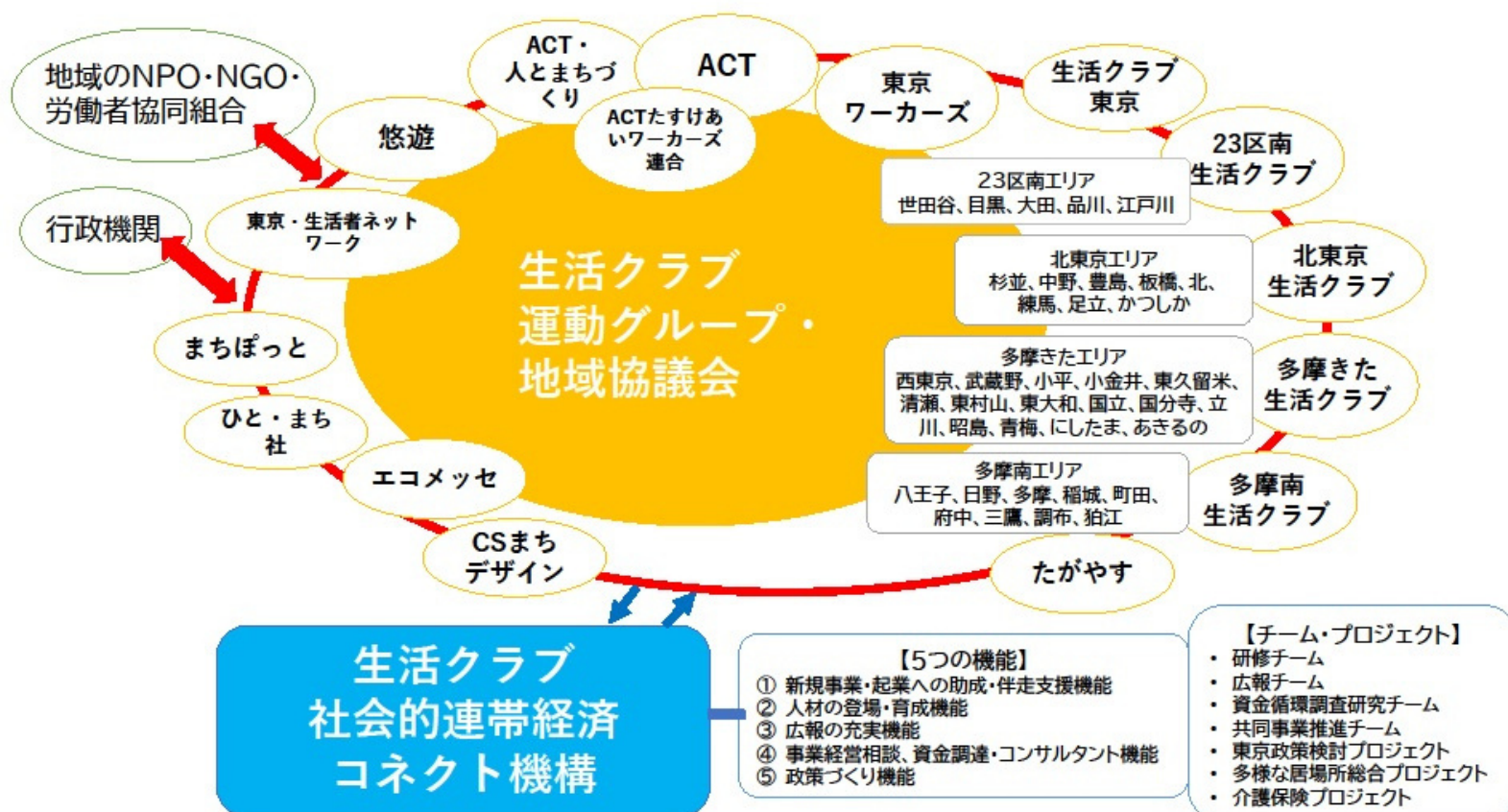


代表 小寺浩子
(生活クラブ生活協同組合 副理事長)

生活クラブおよび生活クラブ運動グループは、今一度地域の多様な組織、団体とのつながりを強化拡大し、地域の中でいくつもの社会的連帯経済をつくるしくみづくりのために、「生活クラブ社会的連帯経済コネクト機構」を設立しました。

少子高齢化と人口減少、格差の拡大、気候変動、食料問題等様々な課題が深刻化しています。利潤の追求を最大の目的とする経済による弊害をなくし、人間や環境にとって持続可能な社会をつくるために、互いに支え合い、助け合って生きる協同組合型の地域社会づくりの必要性がますます高まっています。営利を最大の目的とせず、相互扶助や協働をベースに民主的な運営により人間の関係性や自然との共生を大事にした持続可能な連帯する社会をつくっていきたいと考えます。

生活クラブ社会的連帯経済コネクト機構のイメージ



2025年4月現在

構成団体

23区南生活クラブ生協、北東京生活クラブ生協、多摩きた生活クラブ生協、多摩南生活クラブ生協、生活クラブ生協・東京、NPO法人アビリティクラブたすけあい（ACT）、NPO法人ACT・人とまちづくり、ACTたすけあいワーカーズ・コレクティブ連合、東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合、東京・生活者ネットワーク、社会福祉法人悠遊、特定非営利活動法人まちぼっと、認定NPO法人市民シンクタンクひと・まち社、NPO法人エコメッセ、NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン、NPO法人たがやす

活動方針の柱

- ① 生命、健康、食、農、環境、人権、平和、情報を中心分野とする
- ② 人を癒し、人をつなぎ、食料生産・流通など、人が人として認め合う暮らし方、働き方を創出する
- ③ 協同組合型運営が活かされる事業を創出し、多様な働き方を実現する
- ④ 必要な人材を地域から創出する
- ⑤ 資金循環・調達や職能（資格取得等）、マネジメント、広報機能をもつ組織・仕組みを構築する
- ⑥ 地域づくりに必要な政策形成と提案に取り組む

主な活動方針

- (1) 「市民版まちづくり計画」の作成及び新規事業・起業の推進
各地域協議会による「市民版まちづくり計画」の作成ならびに更新に向けて、資金支援（助成）、共同調査の実施、講師等の派遣など、伴走支援型の支援・協力等を行います。
- (2) 人材の登場・育成等の推進
「協同組合」「参加型福祉」「ワーカーズ・コレクティブ運動」「社会的連帯経済SSE」など総論的な学び場を創出します。運動グループ全体での共通した研修カリキュラムおよび各団体のニーズに合わせた研修計画の策定、実施を通じての専門性の向上・資格取得、外部専門家（大学・研究機関）との連携などをすすめます。
- (3) 広報活動等の推進
運動グループ間の情報をつなぎ、「共通 WEB サイト」や「地域で働こうパフレット」をはじめ、通信や SNS などにより組合員をはじめ内外への情報発信の強化をすすめます。
- (4) 事業活動、資金循環・調達等の推進
事業運営にかかる相談や専門性を持った人員等の紹介、各団体における新たな資金調達方法などの支援、協力を行い、地域や生活クラブ+運動グループ内で資金が循環するしくみづくりをすすめます。
- (5) 政策づくりの推進
生活クラブと生活クラブ運動グループが共同で「政策づくり」等の取り組みをすすめるとともに、自治体との関係強化・自治体政策への反映をすすめます。

市民版まちづくり計画とは？

運動グループ地域協議会の中長期計画と市民版地域福祉計画の総称です



2024年度版地域で働こうパフレット
今年は9月に3週連続で配布予定

助成事業～インクルファンド

インクルファンドはいただいたご寄付を財源として、多世代の居場所づくり、子育て支援、障がい者（児）支援事業など、組合員が参加する地域の様々な事業や活動の助成を行っています。2024年度までの助成実績は46件・3837万円でした。

今回は10月より募集を開始します。対象となるのは2026年4月以降9月30日までに開始する事業や活動です。

*助成内容の詳細はインクルファンドニュースにてお知らせします。

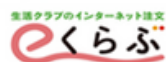


2024年度は空き家を活用した居場所、にわのいえ・もとまち（国分寺市）のシェアオフィス事業の開始にあたり、100万円の助成を行いました。

インクルファンド・サポーター募集中！

	サポーター登録寄付 1口300円(毎月)	スポット寄付 1口500円(今回限り)
注文番号	164151	164160
集金月	2025年8月から毎月	2025年8月のみ
申込期間	7/14(月)～7/18(金)	

- 毎月1口300円の寄付を継続する「サポーター」登録者を引き続き募ります。すでに登録されている方が申込みされると8月分の請求が重複してしまうのでご注意ください。
- スポット寄付は1回限り、1口500円の寄付です。
- 班・個別配送の方は注文用紙に左の6桁の注文番号と申込口数をご記入ください。
- デポ組合員の方はこちらのフォームから登録できます。



インターネット注文eくらぶは7月4回（29週）申込です。



インフォメーション

まちの縁がわフォーラム

2025年7月21日（月・祝）10：30～12：00
会場：生活クラブ館203会議室（世田谷区宮坂3-13-13）
オンライン併用

基調講演：労働者協同組合こうさてん
代表理事 打越 紀子さん

主催：NPO法人アビリティックラブたすけあい（ACT）

←詳細はACTのWEBサイトへ

介護フォーラム

2025年7月12日（土）14：00～16：30
会場：北沢タウンホール3F（世田谷区北沢2-8-18）
コーディネーター：小竹雅子さん（市民福祉情報オフィス・ハスカップ）
主催：介護の崩壊をさせない実行委員会
国会議員と利用者、介護事業者によるパネルディスカッション。
介護保険制度崩壊の危機を社会に広く発信・共有する機会として開催します。



生活クラブ社会的連帯経済コネクト機構

[受付] 月～金 9：00～17：00

<https://sclub-sse-connect.org/>

☎ 03-6697-6135 FAX：03-5426-5203

〒156-0051 世田谷区宮坂3-13-13 生活クラブ館3F